

# 長期ビジョン策定に向けた市外在住者アンケート調査報告書

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

この調査は、市外在住者から見た本市の魅力や力を入れた方がよい点を把握し、「長期ビジョン」策定の参考にすることを目的とする。

### (2) 調査設計

ア 調査対象：令和3年（2021年）4月～12月に本市にふるさと納税を行った市外在住者

イ 調査方法：ふるさと納税者への郵送物による周知／電子申請による回収

ウ 調査期間：令和3年（2021年）4月～令和4年（2022年）1月

エ 調査機関：八王子市 未来デザイン室

### (3) 調査項目

ア 八王子市のイメージ・印象

イ 八王子市との関わり

ウ 八王子市が力を入れたほうがよい点

### (4) 回収結果

対象者数：2,322人

回答者数：32人（回収率1.38%）

### (5) その他

本調査は、本市にふるさと納税を行った市外在住者を調査対象としており、回収率も低い。したがって、調査結果は「市外在住者全体の状況」を示すものではなく、あくまで本調査の回答者の回答状況にとどまる。

## 2 回答者の属性

### (1) 性別

男性 19人／女性 13人

### (2) 年齢

20代 2人／30代 6人／40代 14人／50代 5人／60代 5人

### (3) 職業

会社員 18人／教員・公務員 6人／会社・団体役員 2人／

アルバイト・パート 2人／主婦・主夫 2人／自営業 1人／その他 1人

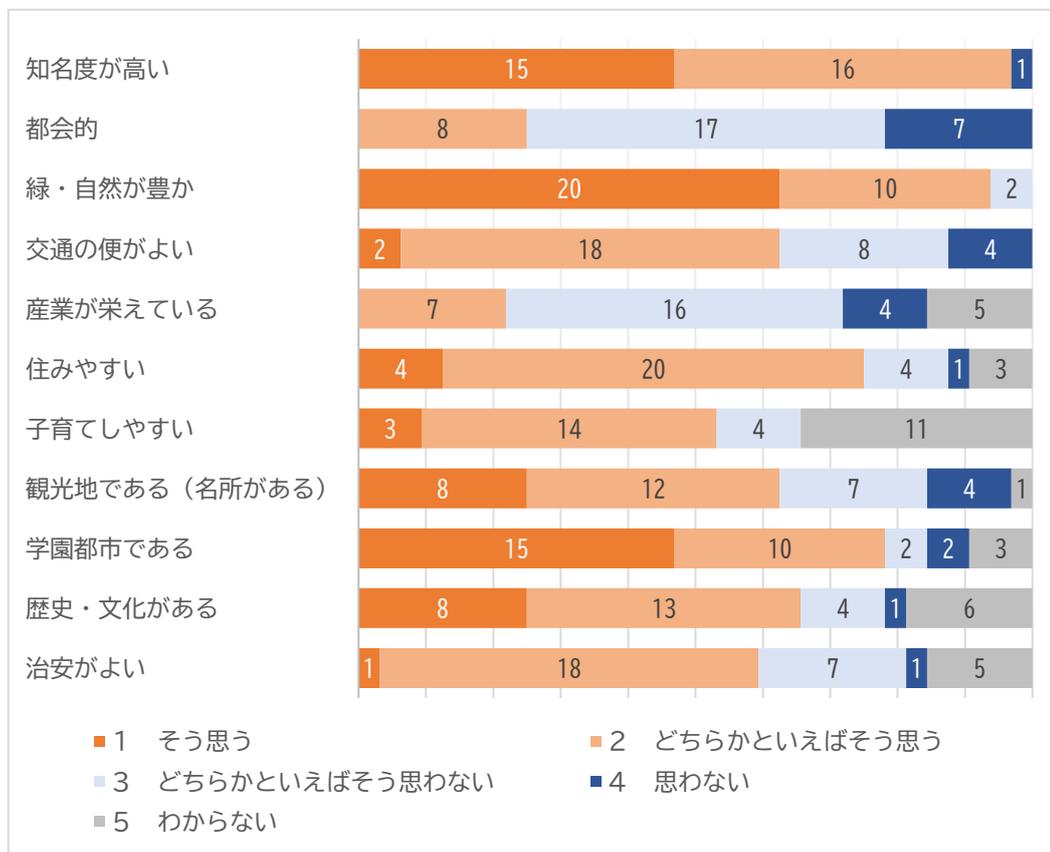
### (4) 居住地

関東地方（東京除く） 15人／東京都 9人／中部地方 3人／近畿地方 3人／東北地方 1人／九州地方 1人

### 3 調査結果

#### (1) 八王子市のイメージ・印象

##### ア 11項目（5択）



##### イ 項目外のイメージ・印象（自由記述）

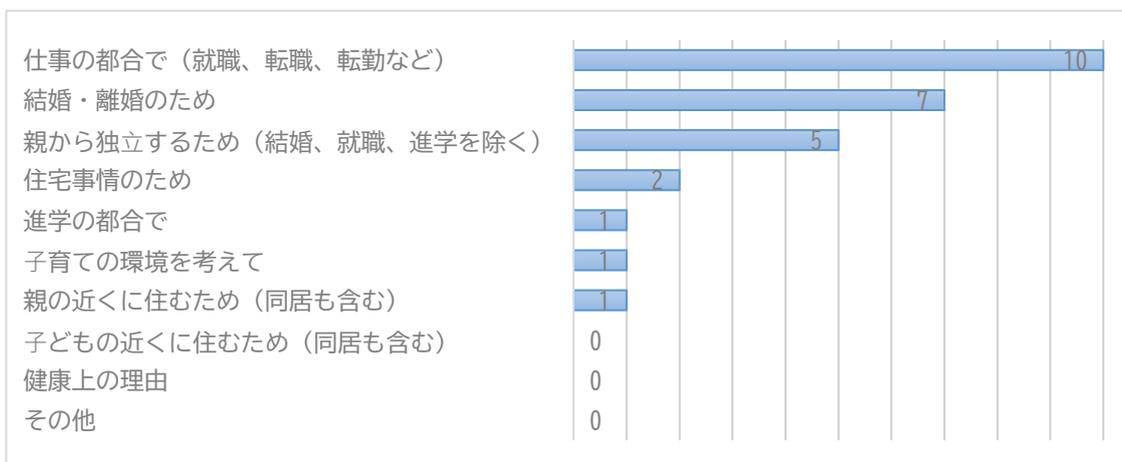
適度な街、適度な田舎／自然と暮らしやすさが調和している／広い市なので、町から自然までバリエーションが豊富／面積が大きく、八王子駅周辺と外周部の山に近い地域では、環境が大きく異なる／同じ市の中でも分かりやすくいうと都会と田舎が混雑している／都心まで電車で1時間未満のため、リモートワークだが時折出社の必要な会社員にはもってこいの立地であり、かつ都心よりも自然豊かで子育てのしやすい環境／学園都市であり、都市と自然のバランスが取れているのに、それを活かせず全くもってもったいない街というイメージ／野菜がおいしい／夏は暑くて冬は寒い／高齢化が進んでいる／住宅地／多摩ニュータウン／保守的／高尾山／高尾山以外はあまり著名な名所がない／郊外／都心への通勤がきつい／都心から遠いと思われやすい／東京だと思われていないこともある／都会から遠い田舎というイメージが社会的に浸透してしまっている／デパートやお店が少ない／特に駅前が立川に比べてあまり発展していない／最近立川に押されて町の賑わいが少ない／前はデパートもあり人も多かったが、立川に抜かれて廃れてしまった／芸能人が多い／芸能人が多く出身している

(2) 八王子市との関わり

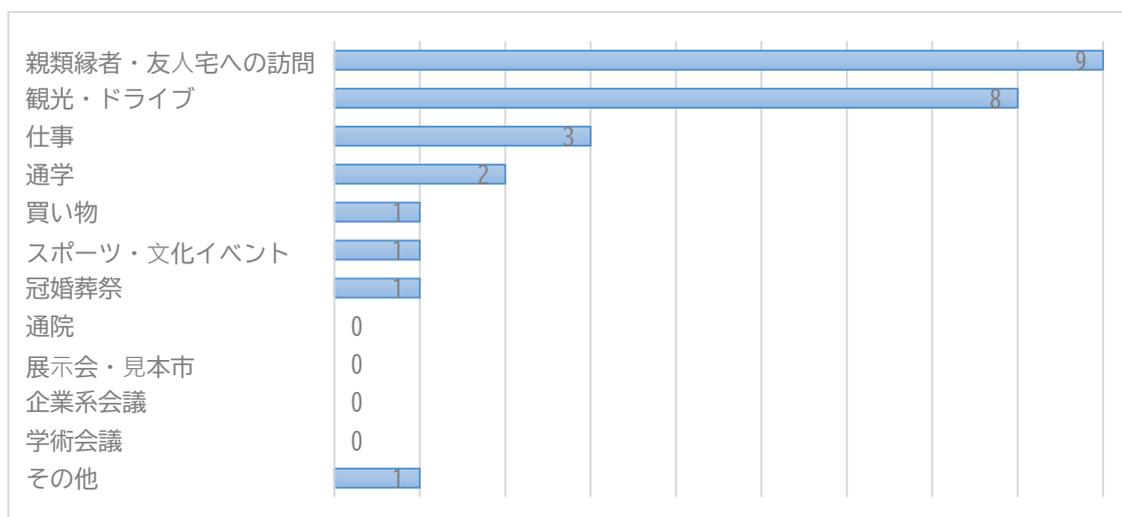
ア 訪問経験の有無（4択）



イ 「住んでいたことがある」方の転出理由（複数選択可）



ウ 訪れたことが「複数回ある」、「一度だけある」方の訪問理由（複数選択可）



エ 再訪希望の有無とその理由（2択／理由は自由記述）

また訪れたい 12人／もう訪れたくない 0人／無回答 1人

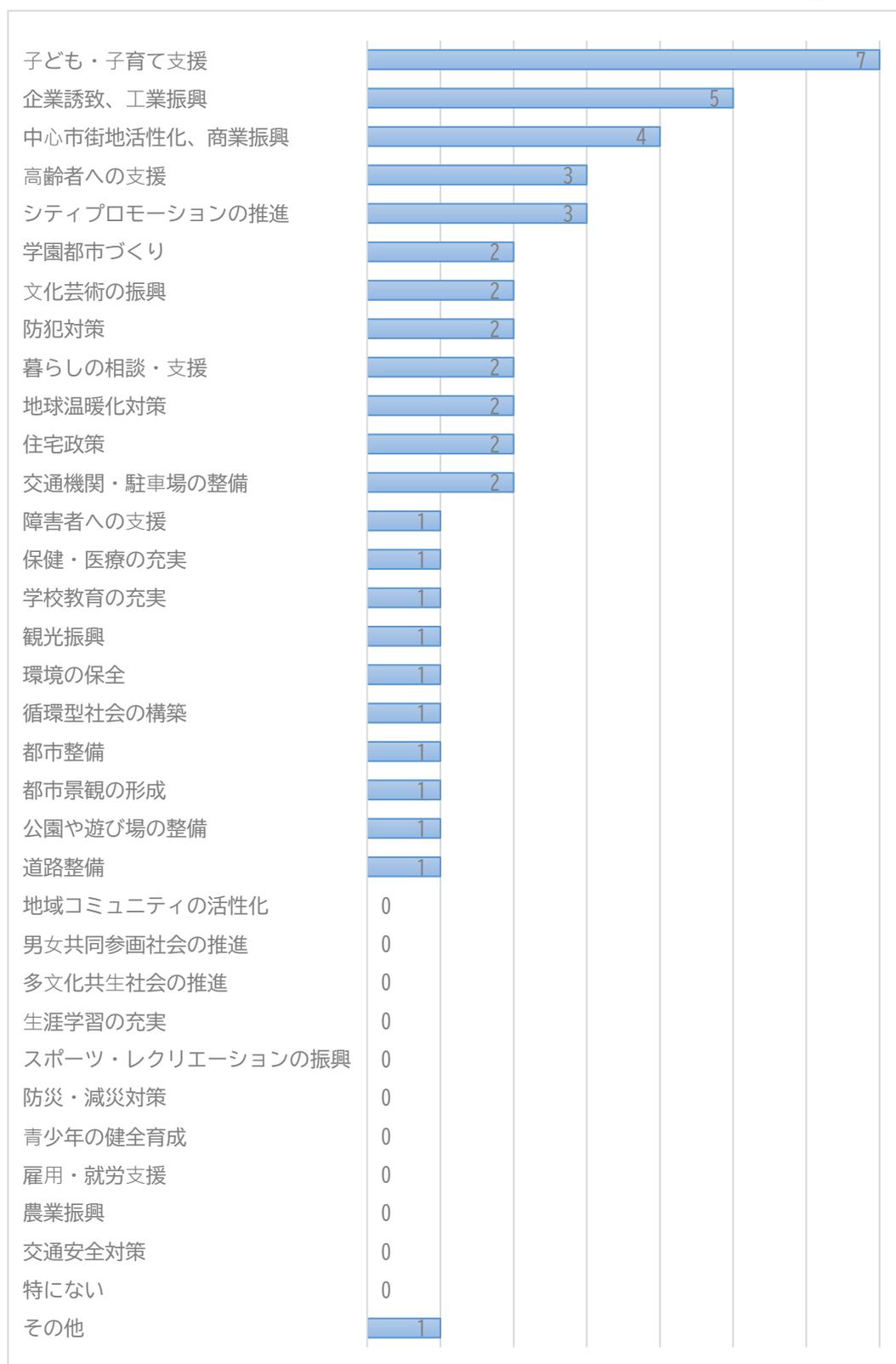
交通の便が良く、観光スポットがある／観光する場所がたくさんある／拠点にして観光に出かけるのに便利／歴史的なものが結構ある／美味しい飲食店がある／美術館、行きたいレストランがある／高尾山と愉快的居酒屋／好きなアーティストの出身地であり応援したい／八王子市内にある大学を卒業したので自分にとっては懐かしい場所／家族が幼少期育った場所であるため

(3) 八王子市が力を入れたほうが良い点

ア 「住んでいたことがある」方への質問

(ア) 八王子市をより良くするために力を入れた方がいいと思う点

(3つまで選択可)

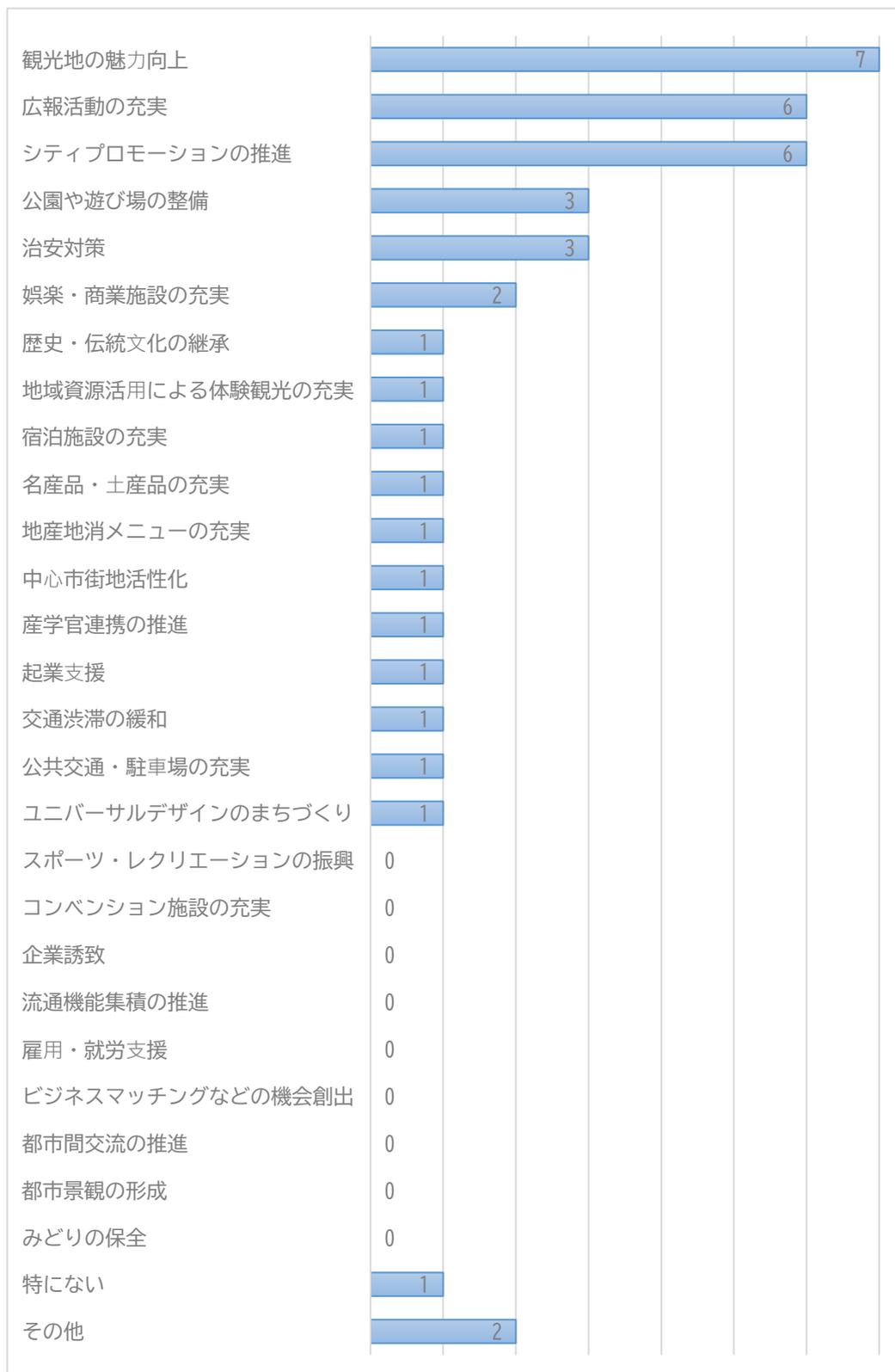


(イ) その具体的な内容（自由記述）

- 子ども・子育て支援
  - ・ 出産費用の補助などの若い世代への支援
  - ・ 子どもが安心して遊ぶことができる場所の整備
  - ・ リモートワークの広がりによる郊外への人口流出の受け皿となる取組
- 中心市街地活性化、商業振興
  - ・ 洗練された郊外都市になるような八王子駅周辺・甲州街道エリアの整備
  - ・ 商店街の新陳代謝の促進
- 高齢者への支援
  - ・ 地域包括支援センターなどによる見守りや支援の充実
- シティプロモーションの推進
  - ・ 遊びや食事の場所の創出、経験豊富な広報担当の採用
  - ・ 田舎イメージが浸透しているので、暮らしやすい・住んでみたい都市としてのイメージ戦略
- 文化芸術の振興
  - ・ 資料館などの保全
  - ・ 芸能人の生誕地をアピールした音楽祭の開催
- 地球温暖化対策
  - ・ ソーラー温水機器の斡旋、補助金支給
- 交通機関・駐車場の整備
  - ・ JR及び京王線の八王子駅の地下連結、多摩モノレールの延伸、バス増加
- 障害者への支援
  - ・ 身体・精神障害者の働く場所やコミュニティづくり、サポート体制
- 学校教育の充実
  - ・ 八王子の学校に通えば将来間違いないといえるような教育体制の整備
- 循環型社会の構築
  - ・ 郊外の廃棄物対策
- 都市景観の整備
  - ・ 豊かな自然だけではない魅力ある景観の保持
- 道路整備
  - ・ 八王子南バイパスの完成
- その他
  - ・ ふるさと納税の返礼品の充実、取扱いサイトの増加

イ 訪れたことが「複数回ある」、「1度だけある」、「ない」方への質問

(ア) 八王子市を多くの人を訪れたいくなるまちにするために力を入れた方が良いと思う点（3つまで選択可）



(イ) その具体的な内容（自由記述）

●観光地の魅力向上

- ・奥多摩や高尾等観光の玄関口として、魅力的な宿泊施設等の整備による都心からのアクセスの良さなどの活用
- ・市域が広いため、バスなどの交通の便をわかりやすくする

●シティプロモーションの推進

- ・歴史や街の魅力等、素材の外部発信、八王子市のイメージの発信
- ・綺麗にまとめようとしない、インパクト重視で印象に残るPR（安易な広報大使とかじゃなくオリジナルな）

●公園の整備

- ・大きな公園の整備

●歴史・伝統文化の継承

- ・歴史をアピールする施設の充実

●地産地消メニューの充実

- ・名産が何かをわかるようにする

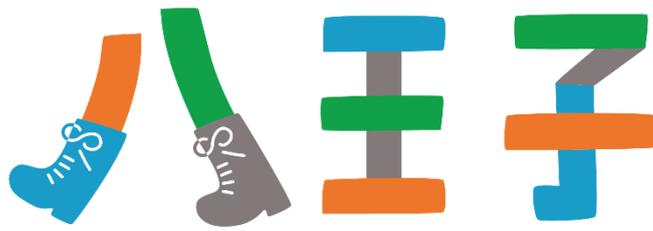
●産学官連携の推進

- ・学園都市の強みを活用し、大学生が何か調査したいとなった場合に市や市内企業が協力したり、逆に大学生が市の主催するイベントを手伝ったり、企業や自治会、NPOなどと連携する機会の増加。座学の講義にとどまらず一歩地域や社会に出て実践を学び体験できることにつなげる。

●その他

- ・大学と地域を結び合わせる仕組みづくりや定住促進施策
- ・多くの人と市の接点を積極的に増やす、ふるさと納税を利用した都市のプロモーション

あなたのみちを、  
あるけるまち。



長期ビジョン策定に向けた市外在住者アンケート調査報告書

令和4年（2022年）3月

発行 八王子市 未来デザイン室

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話 042-626-3111（代表）

042-620-7307（直通）

FAX 042-627-5939